福祉科（介護福祉基礎）　学習指導案

|  |  |
| --- | --- |
| 日時 | 令和○年○月○日（水）第３校時 |
| 学年・組 | ○○科　第○学年○組（男子○名、女子○名） |
| 使用教科書 | 「介護福祉基礎」（実教出版） |
| 授業者 | ○○高等学校　　教諭　　○○ |

１　単元名　　第3編　介護を必要とする人の生活環境

第１章　介護と環境

２　単元の目標

　　　介護を必要とする人それぞれの生活様式や生活習慣、生活歴や価値観などを取り上げ、人間の多様性や個別性について理解させるとともに、バリアーフリーやユニバーサルデザインについて調査することを通して、介護を必要とする人と家族や地域など生活環境について考えさせる。

３　単元の指導観

（１）生徒の実態

　　　　全体的に大人しく、静かに授業を受けているクラスである。一人ひとりがあまり発言等をせずに授業を受けている。しかし、生徒は介護実習を終えて、実際に施設で経験してきたことで、多くの学びがあったように思える。授業に対しても以前より積極的に取り組む姿勢が見られる。

（２）指導の方針

　　　　介護を必要とする人は、それぞれ心身の状況が違ってくる。バリアーフリーやユニバーサルデザインについて調査することを通して、介護を必要とする人の心身の状況を考え、日常生活を送る上で必要とされる居住環境について理解を深める。また、暮らしやすい環境とはどのようなことなのか、日常生活における障壁（バリア）とはどのようなものがあるか自ら考え、生活環境を考えてほしい。

４　単元の評価規準

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 関心・意欲・態度 | 思考・判断・表現 | 技能 | 知識・理解 |
| ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて調査し、高齢者や障害者にとって生活環境を整えることについて考えようとしている。  ・家庭内で起きる事故と住宅の整備との関連性について考えようとしている。 | ・快適な生活を送るための生活環境を具体的に考え、まとめている。 | ・介護保険制度による住宅改修に関する具体的な事例の情報を収集・整理することができる。 | ・障害者の住まいに関する基礎的な知識を身に付け、介護保険制度による福祉用具の貸与・購入ができることについて理解している。 |

５　単元の指導計画及び評価計画

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 時 | [学習内容]  ねらい | 評価の観点 | | | | 評価規準・評価方法 |
| 関 | 思 | 技 | 知 |
| １　　　　　　　　　２（本時） | [生活環境を整える]  ・バリアフリー、ユニバーサルデザインを調査し、高齢者や障害者にとって生活環境を整えることの重要性に気付く。  ・快適に生活を送るための生活環境を考える。 | ○ | ○ |  |  | ・バリアフリー、ユニバーサルデザインについて調査し、高齢者や障害者にとって生活環境を整えることについて考えようとしている。  （観察）（ワークシート）  ・快適に生活を送るための生活環境を具体的に考え、まとめている。  （発表）（ワークシート）（観察） |
| ３　　　　　　　４ | [高齢者の生活と住まい]  ・高齢者の家庭内で起きる事故の概要を知り、事故を防ぐために、住宅の整備が必要であることに気付く。  ・介護保険制度による住宅改修の資料から必要な情報をまとめる。 | ○ |  | ○ |  | ・家庭内で起きる事故と住宅の整備との関連性について考えようとしている。  （観察）（ワークシート）  ・介護保険制度による住宅改修に関する具体的な事例の情報を収集・整理することができる。  （発表）（観察）（ワークシート） |
| ５ | [障害者と住まい]  ・障害の種類や程度に合わせた住まいの整備が生活のしやすさにつながることを理解する。 |  |  |  | ○ | ・障害者の住まいに関する基礎的な知識を身に付けている。（観察）（ワークシート、ペーパーテスト） |
| ６ | ［福祉用具の活用］  ・介護保険制度による福祉用具の貸与・購入について理解する。 |  |  |  | ○ | ・介護保険制度による福祉用具の貸与・購入について理解している。（観察）（ワークシート） |

６　本時の指導計画

　（１）題目　　生活環境を整える

　（２）目標　　すべての人が快適な生活を送るための環境を考えよう。【思考・判断・表現】

（３）準備物　教科書、ワークシート、プロジェクター、パソコン

　（４）本時の展開

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 段階 | 学習内容 | 学習活動 | 指導上の留意点 | 評価（評価方法） |
| 導入  ３分 | ・本時の学習内容を知る。 | ・本時の授業の内容を確認する。 | ・本時の学習内容を確認させる。 |  |
| 展開  42分 | ・バリアフリーについ  て調べてきたことを  発表する。  ・快適な生活環境を考  　える。  ・自分の考えを発表す  　る。 | ・グループごとに調べ  　てきた内容を発表す  　る。  【内容】  ➀バリア調査  ➁バリアフリー調査  （各2カ所）  ・発表グループ以外は  　発表者の話をよく聞  　き、ワークシートに  　適宜記入する。  ・疑問点があれば質問  　をする。  ・写真より、どのよう  　な点がバリアとなる  　かを考え、快適な生  　活を送るために必要  　な生活環境を考え、  　まとめる。  ・記入した内容を発表  　する。 | ・発表内容を伝え  　る。  ・発表者以外は、各グループの話をよく聞き、質問がある際は、質問をする。また、ワークシートに他の班の発表を聞いて気付いたところを記入させる。  ・机間指導をし、自分の考えを記入させる。  ・２～３人に自分の書いた内容を発表してもらう。 | 快適な生活を送るための生活環境を具体的に考え、まとめている。  【思考・判断・表現】  （観察、ワークシート） |
| まとめ  ５分 | ・本時のまとめ | ・本時の学習をまとめ、感想を書く。  ・次時の学習内容を知  　る。 | ・快適な生活を送るための生活環境を確認する。  ・次時の学習内容について伝える。 |  |